

# **専門研修に係る令和8年度の採用状況及び 令和9年度シーリング案について（報告）**

**和歌山県福祉保健部福祉保健政策局医務課**

# 令和 8 年度専門研修に係る専攻医の採用状況等について（報告）

内科がシーリング対象(R2年度採用～)

整形外科はR8年度採用からシーリング対象外

基本領域名		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	合計
		内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理	臨床検査	救急科	形成外科	リハビリ科	総合診療	
R8採用予定数		22	1	5	1	7	2	4	3	3	4	1	3	7	1	1	2	3	2	2	74
割合		29.7%	1.4%	6.8%	1.4%	9.5%	2.7%	5.4%	4.1%	4.1%	5.4%	1.4%	4.1%	9.5%	1.4%	1.4%	2.7%	4.1%	2.7%	2.7%	100.0%
シーリング枠内		22	1	5	1	7	2	4	3	3	4	1	3	7	1	1	2	3	2	2	74
シーリング枠外 ※1		0																			0
和歌山県立医科 大学附属病院		17	0	5	1	6	2	4	3	3	4	1	3	7	1	1	2	3	2	1	66
日本赤十字社 和歌山医療センター		5	1			1	0	0			0		0	0			0				7
和歌山県立 こころの医療センター					0																0
和歌山生協病院																				1	1
有田市立病院																				0	0

過 年 度 実 績	R7採用数 〔うちシーリング枠外〕	28 〔8〕	5	3	3	3	3 〔0〕	5	1	2	2	0	3	5	1	0	4	2	1	4	75 〔8〕
	R6採用数 〔うちシーリング枠外〕	26 〔6〕	5	4	11	8	1 〔0〕	3	3	4	4	0	3	4	1	0	2	2	0	2	83 〔6〕
	R5採用数 〔うちシーリング枠外〕	24 〔4〕	3	5	4	6	5 〔0〕	4	0	3	3	1	3	6	1		4	3	2	2	79 〔4〕
	R4採用数 〔うちシーリング枠外〕	30 〔10〕	5	8	4	7	5 〔0〕	1	1	1	4	5	3	4	2		4	2	1	2	89 〔10〕
	R3採用数 〔うちシーリング枠外〕	34 〔14〕	2	0	4	3	4 〔0〕	2	0	3	3	1	1	3	0		1	2	3	1	67 〔14〕
	R2採用数 〔うちシーリング枠外〕	26 〔5〕	1	1	3	7	9 〔1〕	3	4	8	5	5	3	1	1		5	0	6	2	90 〔6〕
	R1採用数	24	5	5	5	2	3	1	1	3	3	2	3	3	0		5	1	1	0	67

※1 地域枠医師（和医大県民医療枠・地域医療枠、自治医大、近大）はシーリング枠外で採用可能

# 専門研修募集定員シーリングの経緯①

## ◆ シーリングに係るこれまでの経緯

H30年度採用  
(H29年募集)

- 都市部への専攻医集中を抑制するため、五大都市（東京都、神奈川県、愛知県、大阪府、福岡県）について、各診療科のシーリング数(過去5年の専攻医採用実績の平均値)を設定

R1年度採用  
(H30年募集)

- 東京都のシーリング数をさらに5%削減

R2年度採用  
(R1年募集)

- 各都道府県別診療科の必要医師数及び必要養成数に基づきシーリング数を設定

当県の状況：

シーリング対象診療科：内科（21※） 整形外科（9※）  
ただし、県立医大地域医療枠・近大医学部和歌山県地域枠・自治医大卒医師はシーリング対象外

R3年度採用  
(R2年募集)

- 前年度と同様の方法でシーリング数を設定（計算方法の変更等あり）

当県の状況：

シーリング対象診療科：内科（20※） 整形外科（9※）  
ただし、地域枠医師（前年度の対象外医師＋県立医大県民医療枠）はシーリング対象外

次頁へ

※ 括弧内の数値は連携枠を除いたシーリング数

## 専門研修募集定員シーリングの経緯②

### ◆ シーリングに係るこれまでの経緯

R4年度～R7年度採用  
(R3年～R6年募集)

- 再計算は行わず、前年度と同数値でシーリング数を設定  
当県の状況：

シーリング対象診療科：内科（20※） 整形外科（9※）  
ただし、地域枠医師（県立医大地域医療枠・県民医療枠、近大医学  
部和歌山県地域枠、自治医大卒医師）はシーリング対象外（R3年度  
採用時と同様）

- 令和5年度から、足下医師充足率が低い都道府県との連携枠として「特別  
地域連携プログラム」を設置
- 令和7年度から、特別地域連携プログラムの連携先の新たな要件として、医  
師少数区域の病院に新規に医師を1年以上派遣する研修施設を追加す  
る案が示されたが、導入は見送り

R8年度採用  
(R7年募集)

- 計算方法に変更あり  
**当該診療科全国専攻医採用数と各都道府県人口割合に基づきシーリング数を設定**  
当県の状況：

シーリング対象診療科：**内科（25※）**  
**整形外科は、過去3年平均採用数が5以下のため、シーリン  
グ対象外**

※括弧内の数値は連携枠を除いた通常プログラムシーリング数

# 令和8年度専攻医募集におけるシーリングの考え方①

採用数の上限については、当該都道府県診療科の直近過去3年間の平均採用数（シーリング枠外の地域枠医師含む）とする。

## 通常募集プログラム

### (1)基本数

当該診療科の過去3年間の全国専攻医採用数平均×(都道府県の人口/全国の総人口)

1

### (2)加算数

(1)の数が過去3年間の平均採用数に達していない場合、専門研修指導医の派遣実績に応じ、「過去3年間の平均採用数に達しない範囲」かつ「(1)基本数の15%までの範囲」で加算

2

※(1)においては、直近過去3年間の平均採用数を超過して設定することができるが、(2)は過去3年間の平均採用数に満たない範囲で加算することとする。

＋ 通常募集プログラム数が過去3年間の平均採用数に満たない場合、過去3年間の平均採用数に達しない範囲で連携プログラムを設置

## 特別地域連携プログラム

### 【連携先】

山形県、福島県、茨城県等

原則足下充足率が0.7以下の都道府県のうち、  
・医師少数区域にある施設  
・令和5・6募集時に年通算の時間外・休日労働時間が1860時間を超える医師等が所属する施設で、引き続き連携が必要な、B水準の特定労務管理対象機関

### 【採用数】

原則都道府県限定分と同数

### 【研修期間】

全診療科共通で1年以上

3

○計算方法は2025年度と同様とする。

＋

## 都道府県限定分

### 【連携先】

北海道、山形県、栃木県等

原則足下充足率が0.8以下で、医師不足がより顕著の都道府県

### 【採用数】

連携プログラム採用基礎数の5% 全診療科共通で1年6ヶ月以上

### 【研修期間】

## 連携プログラム

### 【連携先】

シーリング対象外の都道府県

### 【採用数】

連携プログラム採用基礎数(※1) ×10～20% (専攻医充足率により変動)

### 【研修期間】

全診療科共通で1年6ヶ月以上

4

○計算方法は2025年度と同様とする。

(※1) 過去3年の平均採用数－2024年の必要医師数を達成するための年間養成数

本県R8年度シーリング数

シーリング数/上限数

27人/26人

6

## 常勤派遣分

1人

4

都道府県  
限定分

連携  
プログラム

1人

3

特別地域連携  
プログラム

1人

2

加算分

3人

1

通常募集  
プログラム  
(基本数)

21人

・当該診療科の全国専攻医採用数(過去3年間平均)の1.7%に満たない場合、前回シーリング数を超えない範囲で通常プログラムを追加

・常勤に相当する週5日間の医師少数区域への指導医派遣実績がある場合は、設定可能数の範囲内で、採用数の上限を超過して追加

5

6

## 令和8年度専攻医募集におけるシーリングの考え方②

### 専門研修指導医の派遣実績の定義及び加算数の設定について

#### ○派遣実績の定義について

専門研修指導医の派遣実績とするのは、以下のいずれも満たす場合とする。

##### (1) 医師や派遣先における勤務形態

- ・原則、各基本領域の専門研修プログラム整備基準に定める専門研修指導医の要件を満たす医師
- ・派遣元と派遣先の連携・調整により派遣された医師
- ・常勤、非常勤の勤務形態や派遣期間によらず、専攻医の指導を行うこと等を通じて、専門研修の充実に資する勤務形態

##### (2) 派遣先

- ・専門研修施設（基幹施設または連携施設）又はその認定を受けようとする医療機関への派遣
- ・シーリング対象外の都道府県への派遣

#### ○派遣実績の枠数への換算及び加算数の設定について

①全派遣実績については、1人年に対し、0.5枠に換算する

②より高い評価を行うこととされる「指導医派遣のニーズがより高い地域への派遣」に該当する地域は、「足下充足率0.7以下の都道府県」とし、この地域への派遣実績は、1人年に対し、さらに0.5枠分の換算を可能とする

$$\text{① (全派遣実績(人年))} \times 0.5 \text{ 枠} + \text{② (足下充足率0.7以下の都道府県への派遣実績(人年))} \times 0.5 \text{ 枠}$$

※加算数の上限は、通常プログラム基本数の15%分とし、この上限の範囲内で加算可能とする

③常勤に相当する週5日間の医師少数区域(シーリング対象外の都道府県)への派遣実績について、1人年に対し、通常プログラム基本数の15%を上限として、**シーリングの枠外で追加可能**とする。

$$\text{全派遣実績(人年)} \div \text{通常プログラム基本数の15\%分}$$

※ただし、次年度の採用実績に計上しない

通常プログラム基本数の15%分

$$\text{① 9人(全派遣実績(人年))} \times 0.5 \text{ 枠} + \text{② 2人(足下充足率0.7以下の都道府県への派遣実績(人年))} \times 0.5 \text{ 枠} = 6 \text{ 人} \Rightarrow \underline{3 \text{ 人}}$$

$$\text{③ 2人(全派遣実績(人年))} \div 3 \text{ 人(通常プログラム基本数の15\%)} = 0.666 \dots \Rightarrow \underline{1 \text{ 人}}$$

※派遣の人数は医大の実績

# 令和9年度専攻医募集におけるシーリングの方針（案）について①

令和7年度第4回医道審議会医師分科会医師専門研修部会(R8.1.21)において、令和9年度の専攻医募集におけるシーリングの方針（案）が示された。

→ 令和9年度のシーリングについては、基本的に令和8年度と同様の仕組みとした上で、以下のとおり変更を加える

## ●具体的な変更点

### （１）シーリング対象

- ・2025年に算出された最新の必要医師数や足下医師数のデータを用いることとし、「2022年医師数」が「2022年の必要医師数」及び「2030年の必要医師数」と同数あるいは上回る都道府県診療科とする。

※現在は、「2018年医師数」が「2018年の必要医師数」及び「2024年の必要医師数」を上回る都道府県診療科がシーリング対象

※過去3年間(令和5～7年度)の採用数の平均が5以下の都道府県診療科は引き続き対象外

### （２）特別地域連携プログラム

#### ①特別地域連携プログラムの連携先要件について

- ・足下充足率の基準を「0.7以下」から「0.8以下」に引き上げる。※小児科は「0.8以下」→「0.9以下」に引き上げ
- ・「医師少数区域」から「都道府県が候補とした施設」に変更する。

#### ②特別地域連携プログラムと連携プログラム（都道府県限定分）を統合する。

### （３）指導医派遣

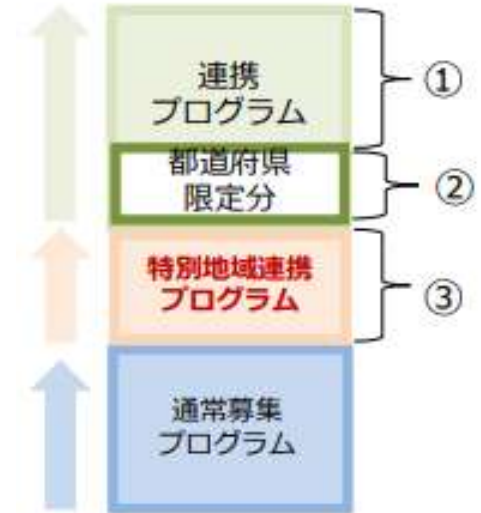
- ・通常プログラムの加算数の算出に用いる指導医派遣実績については、新たに実績を収集せず、2026年度のシーリング算出に用いた実績を使用する。
- ・ただし、2027年度のシーリングにおいて、新たに加算数の設置の対象となる都道府県診療科については、2026年度のシーリング算出と同様の方法で実績を収集し、算出に用いる。  
→ 本県は、新たに設置する加算なし

# 令和9年度専攻医募集におけるシーリングの方針（案）について②

## 連携プログラムにおける連携先要件及び区分の見直し（案）について

### ●令和8年度

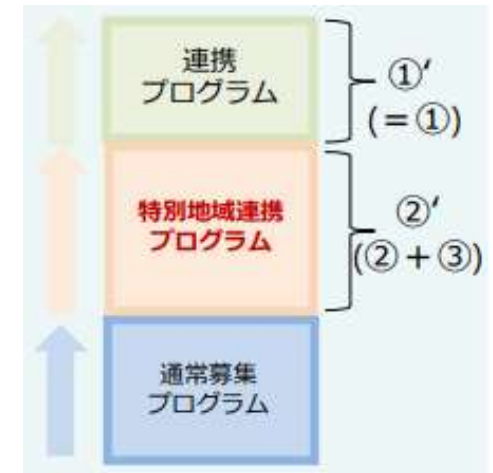
	区分	連携先	連携期間	採用数
①	連携プログラム (都道府県限定分除く)	シーリング対象外の都道府県に所在する施設	1年半以上	・過去3年間の平均採用数の一定割合に満たない分 ・各プログラムの割合は令和7年度と同じ
②	連携プログラム (都道府県限定分)	足下充足率0.8以下の都道府県に所在する施設	1年半以上	
③	特別地域連携プログラム	足下充足率0.7以下の都道府県の医師少数区域等に所在する施設	1年以上	



### ●令和9年度以降（案）



	区分	連携先	連携期間	採用数
①'	連携プログラム	シーリング対象外の都道府県に所在する施設	1年半以上	①と同様
②'	特別地域連携プログラム	<b>足下充足率0.8以下(小児科は0.9以下)の都道府県にあり、当該都道府県が候補とした施設</b>	1年以上	② + ③



※特別地域連携プログラムの連携先要件を緩和することで、福井県や山口県等、東北以外で近畿圏に近い県が追加

# 令和9年度和歌山県のシーリング数（案）について

## 1. シーリング対象診療科

※R8.1.21 令和7年度第4回 医道審議会 医師分科会 医師専門研修部会より

- 「2022年の医師数」が「2022年の必要医師数」および「2030年の必要医師数」と同数あるいは上回る都道府県別診療科  
⇒ **内科**が引き続き**シーリング対象**となる。**整形外科**については**過去3年間の平均採用数が5以下となるため、令和8年度と同様にシーリング対象外**となる見込み

## 2. 国から示されたシーリング数 (採用数の上限)

本県における過去3年間の平均採用数（シーリング枠外の地域枠医師含む）・・・**26人** ※R7:28、R6:26、R5:24

**(通常プログラム数（基本数+※加算分）) ※本県の指導医派遣実績に基づく加算**

基本数：2,911人(R5~R7全国採用数平均)×0.704351362%(本県の全国人口割)=20.50人

⇒ **21人**

医大の実績

加算分：9人(全派遣実績(人年))×0.5枠 + 2人(足下充足率0.7以下の都道府県への派遣実績(人年))×0.5枠 = 6人

医大の実績

⇒ **3人** (通常プログラム基本数の15%分を加算)

### (連携プログラム)

採用数の上限を超えない範囲内において設定する（設置の比率は令和7年度と同様）

⇒連携プログラム**1人** + 特別地域連携プログラム…**1人**

**(常勤派遣分) ※常勤に相当する週5日間の医師少数区域(シーリング対象外都道府県)への指導医派遣実績を追加で加算**

2人(全派遣実績(人年))×0.5枠 = **1人** (シーリング枠外で加算可能)

医大の実績



### 【令和9年度和歌山県内科シーリング数見込み】

- 通常プログラム **24人 (R8比 ±0人)**
- 連携プログラム **1人 (R8比 ±0人)**
- 特別連携プログラム **1人 (R8比 ±0人)**
- 常勤派遣分 **1人 (R8比 ±0人)**
- 計 27人 (R8比 ±0人)**

### 【R8参考】

24人  
1人  
1人  
1人  
計 27人